

## 保健所業務に関しては、一部の事務手続きの継続を



自由民主党議員団  
山口 雅夫 議員

県保健所とのより緊密な連携体制により、地域保健の向上を図りたい。

### 本庁舎整備

**問** 今年度中に建設地や整備

手法などの方針決定予定だが、決め手となるものは。

**答** 将来にわたる市民負担、災害に強いまちづくり、業務を円滑に推進する機能、地域活性化への貢献といった観点等のバランスを見ながら総合的に検討する必要がある、市民の意向が一番中心になるのではないかと考えている。

### 行財政改革に対する目的意識

**問** 事業の縮小や廃止に関する判断基準や、新たな事業を始める際の検討基準は何か。

**答** 事業の優先順位に応じた取捨選択や事業規模の縮小など厳しく判断する必要がある、施策目的達成の観点や市民ニーズ状況等を加味し、より目的達成に寄与する事業への資源の重点投下や事業の統廃合などを行っていききたい。

### 総合体育館整備

**問** 民間企業の参入意向があれば、今後は民間資金を活用したPFI手法で事業を推進していくのか。

**答** 現在、庁内関係課と協議

検討を進めているが、現時点で決定には至っていない。

**問** 財源である過疎債の期限と今後のスケジュールは。

**答** 現在の過疎計画の期限が平成32年度までであるため、課題の整理や建設地、規模、機能の決定はスピード感を持って進めたい。その中で、公共施設維持管理計画との整合も図る必要がある、他の施設との複合化・集約化の調整も関係機関の理解と協力を得られるように推進していきたい。

### 大牟田市動物園の活性化

**問** 絵本ギャラリー整備におけるバリアフリー化やプライバシーに配慮する考え方は。

**答** 高齢者や障害者、妊産婦や乳幼児を連れの方の利用に配慮し、バリアフリー化等を行い、プライバシーの保たれた授乳室などを設置したい。

**問** 議会や市民の意見を反映できる期限はいつまでか。

**答** 7月中旬に基本設計に入り、今年度中に完成させ、来年度に詳細な実施設計に入る。基本事項に関する意見の反映に関しては、基本設計の早い段階で行っていききたい。

### 新規創業と中心市街地の空き店舗解消

**問** 昨年度に空き店舗解消のために配置されたタウンマネージャーの取り組み状況は。

**答** 新規出店希望者への空き店舗紹介等で、中心市街地の空き店舗に14店が出店した。

### 今後の保健所のあり方

**問** 県への移管で、各種申請等の手続など、身体的に不自由な方や交通弱者に対し、相当な負担が強いられるのでは。

**答** まず、国や県と協議を行い、具体的な実施方法や実施時期が固まり、変更後の内容が明らかになった時点で、手続などの十分な市民周知を図り、理解と協力を求めたい。



保健所外観

**問** 保健所運営に超過負担があっているようだが。

**答** 直近の3カ年は、毎年度、約1億5千万円強という状況。

**問** 県へ移管後、(仮称)保健センターを設置することで生まれる強みは何か。

**答** 現施設を利活用し、保健福祉部内の市民の健康に関する業務を一元的に実施するとともに、保健所業務に従事してきた経験を生かすことで、